

## 研究主題

共通主題 **協働して、よりよく生きようとする児童・生徒の育成  
～安定と柔軟性がある学級集団づくりを通して～**

＜厨川中学校区 3校共通の視点＞

（生徒指導を基盤として）

《「生徒指導」の実践上の視点を活かす》

- リアクティブからプロアクティブな指導支援へ
- 予防的生徒指導から成長を促す「開発的生徒指導」へ
- あらゆる教育活動と生徒指導を関連付ける

### 生徒指導の実践上の視点

- 1 自己存在感の感受
- 2 共感的な人間関係の育成
- 3 自己決定の場の提供
- 4 安全・安心な風土の醸成

## 大新小学校の取組

### 1 児童の実態から

#### ① R5全国学調 質問紙の結果から

- ・「自分にはよいところがある」について肯定的回答は87.5%（全国比106）と高めである。
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」についての肯定的回答も85.2%（全国比104）と高めである。

#### ② 各種調査結果・校内アンケートから

- ・算数において説明する問題について正答率が低めである。
- ・「学級の他の児童に自分の考えを説明する」についての肯定的回答が低めである。

### 本研究を通して

生徒指導提要実践上の視点「2 共感的な人間関係の育成」を算数科の授業改善の視点として位置付け、そのことを通して、児童に自信をもって考えを伝え合う力を育成し、豊かに学び合うことを通して、他者と協働し、よりよく生きようとする児童を育成したい。

### 2 中心的研究内容 ＜算数科の授業改善を中心として＞

(1) 目指す子どもの姿：豊かな学びをつくる児童 キーワード：「伝え合い、学びを深める」

#### ア 知識・技能の習得

目的意識をもち、主体的かつ協動的に課題を解決する中で、基礎的基本的な学習内容とそれを支える力を確かに習得している。

#### イ 思考力・判断力・表現力の習得

身に付けた力を家庭学習や実生活の中で活用し、生きてはたらく力として強化している。

#### ウ 学びに向かう力、人間性

よりよい人生を切り拓くために、自己を高める豊かな学びをつくろうとしている。

#### エ 共感的な人間関係

自他の個性を尊重し、相手の立場にたって考え、認め合い・励まし合い支え合う。


### 3 具体的手立て

#### (1) 伝え合う活動の意図的な位置付け

※ 育てたい力（考える・伝え合う・深める）における発達段階に応じためざす子ども像に、めざす学級集団の姿を位置付ける。＜共感的な人間関係の視点を挿入＞

#### (2) 数学的な見方・考え方を働かせるための指導の工夫

#### (3) 単元の指導計画（指導と評価）の工夫

		<div>育てたい力</div> <div>  </div> <div>考える      伝え合う      深める</div>			めざす子ども像	※共感的な人間関係にある学級・授業
低学年	算数	・具体物，言葉や図を使いながら，自分の思いや考えをもつ。	・具体物，言葉や図を正しく使って説明する。	・互いの考えや思いのよさに気付いたり，それを受けて話をつないだりしながら，よりよく，課題を解決している。	・わからないことや疑問に思ったことを他の児童の考えを聞いて解決できている。	○互いに認め合い・励まし合い・支え合う学級
中学年	算数	・テープ図，線分図，図，表，言葉の式などを根拠に，それらを活用して，自分の思いや考えをまとめる。	・テープ図，線分図，図，表，言葉の式などをもとに，それらを活用し，簡潔，明瞭，的確に説明する。	・互いの考えや思いの，違いや共通点に気付く，自分の考え方に取り入れたり，新しい方法で課題を解決したりし，自分の思考の幅を広げている。	・自分と違う見方や考え方に気付く，自分の考えを広げることができる。	○失敗を恐れない，間違いやできないことを笑われない，むしろ、なぜそう思ったのか、児童同士が互いに 関心を抱き合う授業
高学年	算数	・図，表，式，数学的な言葉や記号をもとに，自分の思いや考えを，根拠を明らかにしながらまとめる。	・図，表，式，数学的な言葉や記号をもとに筋道立てて分かりやすく効果的に説明する。	・互いの考えや思いの多様性を尊重しながら，自分の思考や思いを再構築したり深めたりする。また，一定の結論導き出したり，学びを次の活動や実生活に活かしたりしている。	・自分と違う見方や考え方を尊重しながら，自分の思いや考えを深めることができる。	※生徒指導 提要より